

登録団体概要書

(令和5年2月作成)

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん かがわしにあどぼくぎじゅつしやきょうどうくらぶ		
団体名	特定非営利活動法人 香川シニア土木技術者協働クラブ		
代表者職・氏名	理事長 松岡正己		
主たる事務所の所在地	〒760-0062 香川県高松市塩上町1丁目3-6 ナイバビル5階510号		
連絡先等	電話	080-8631-1213	FAX
	e-mail	kscecch30@gmail.com	
	ホームページ	http://kscecch30.jp/	
法人設立年月	2018年 6月	正会員数	11人
活動目的 (定款に記載された目的)	この法人は、香川県下の経験豊富なシニア土木技術者をインターネット上の共通広場に集結し、各人の保有技術の維持継承向上を目指すとともに当法人の目的を達成するために協働する。 技術者集団の経験知識を使い香川県下のインフラ整備及び防災活動を通じて安全安心の社会の形成・維持管理に寄与することを目的とする。		
主たる活動分野	(1)まちづくりの推進を図る活動 (2)環境の保全を図る活動 (3)災害救援活動 (4)情報化社会の発展を図る活動 (5)経済活動の活性化を図る活動 (6)職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動		
活動状況	主な活動	①ホームページで当会の目的を広めると共に、会員及び賛助者の増加を計り色々な活動に取り組めるようにする ②コロナウイルス蔓延終息を待って、当法人の知名度アップ図ると共に協働出来る目的で建設分野関係者とのヒヤリングを再開する (高松市、西讃自治体、建設関係民間事業者等) ③調査や防災に活躍が期待されるドローン技術向上の為、定期的にドローン飛行訓練を実施すると共に県下の防災活動に参加する ④インフラ整備に寄与する具体的委託事業を受託実施する	
	活動地域	香川県	
	活動頻度	都度	
	過去の事業実績	①ホームページを定期的に維持改良し、会員及び賛助者の増大を計った ②ドローン飛行訓練を定期的に実施すると共に香川県防災士会南支部とドローン合同訓練を実施した ③要請を受け太田地区中央校区防災訓練に参加しドローン飛行を地区住民に実演した ④香川県防災士会高松南支部と合同でドローン飛行訓練を実施した	
今後の活動方針	コロナウイルス蔓延下で計画した活動を実施出来ていないのが現状である。今後の活動方針は①関係部署を訪問し当活動の理解を深める②会員の技術向上を計る為ドローン訓練や高度技術の土木現場見学を実施する③NPO助成事業に積極的に参加する④他の防災機関と協働する		
県民へのPR	土木事業は主に官庁・民間企業で計画実施されるため、一般の県民には馴染みが少ないのが現状である。想定外の災害が増えている中インフラ整備及び県土の安全安心に寄与する建設分野を積極的に宣伝し支援していきたい。		

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

活動状況報告書

(令和5年2月作成)

団体名 特定非営利活動法人 香川シニア土木技術者協働クラブ

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	<p>我々の法人は主にシニアで構成されており身体的負荷の高い事業は取り組み難いのが実状です。ドローン操作は技術力は要りますが身体的には楽なため我々の取り組める活動と考え2年半前から県の飯田運動広場を使用して36回の飛行訓練を実施し会員の操作技術の向上を計って来ました。</p> <p>昨年は要請を受け太田地区中央校区防災訓練に参加しドローン飛行を地区住民に実演し好評を得ました。また香川県防災士会高松南支部と合同で飛行訓練を実施し活動を広げてきました。</p> <p>今後は学校防災活動や地区防災活動に参加すると共に、シニアや子供へのドローン訓練を実施し災害発生時に役立つ様に取り組みたいと考えています</p>
より公益性の高いNPO活動を行っていること	<p>我々の活動分野は以下の通りです。</p> <p>(1)まちづくりの推進を図る活動 (2)環境の保全を図る活動 (3)災害救援活動 (4)情報化社会の発展を図る活動 (5)経済活動の活性化を図る活動 (6)職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動</p> <p>コロナウイルス蔓延の前上記活動分野を具体化するため香川県東讃の地方自治体を訪問しヒヤリングし、その結果を受け「ドローンを活用した活動を実施する為の訓練」を実施して来ました。</p> <p>現在コロナ新規発生者が少なくなっているため本年は高松市及び西讃市町村の自治体や建設分野事業者を訪問し活動分野の洗い出しや提案をしたいと思えます。</p> <p>その結果をもとにより公益性の高いNPO活動を行いたいと考えています。</p>
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	<p>コロナウイルス蔓延の為積極的な活動が出来ず県民や活動分野に十分に周知されていないのが現状です。</p> <p>しかしながら県下の色々な建設分野の課題や悩みに特定非営利活動法人として活躍・活動できると考えています。</p> <p>今継続的に一番取り組んでいる「ドローン訓練や実演」を通じ我々の活動が色々な団体や住民に少しずつですが理解されていると感じていますので、更に色々な活動を計画・実施してシニアの遣り甲斐創出も計りたいと思えます。</p>

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。